

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）



平成 18 年 2 月 21 日

会社名 ウルシステムズ株式会社

（コード番号：3798）

（URL <http://www.ulsystems.co.jp/>）

代表者 代表者取締役社長 漆原 茂

TEL : (03) 6220 - 1416

問合せ責任者 取締役兼 CFO 高橋 敬一

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	1,016	-	115	-	106	-	103	-
17 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)17 年 3 月期	1,485		81		81		73	

	1 株当たり四半期(当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	8,675	91	-	-
17 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考)17 年 3 月期	6,200	19	-	-

(注)1. 百万円未満の数字は切り捨てて表示しております。

2. 平成 17 年 3 月期は四半期財務・業績の概況の開示を行っていないため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

3. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、新株予約権等の残高はありますが、当社株式は平成 18 年 2 月 21 日に上場したため、第 3 四半期については期中平均株価を把握できませんので記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の経営成績は、緩やかな景気回復に伴う流通、情報サービス及び製造業等の顧客企業の戦略的 IT 投資の増勢を背景に順調に推移し、以下の結果となりました。

売上高 1,016 百万円
経常利益 106 百万円
第 3 四半期純利益 103 百万円

当第 3 四半期において特筆すべき事項は下記のとおりです。

・当社の基幹事業であるナレッジベース・ソリューション事業については、プロフェッショナルスタッフの不足感は継続しているものの、流通、情報サービス及び製造業等の既存顧客企業からの

高水準なりピートオーダー及び潜在顧客への積極的な提案活動により堅調に引き合いが推移し、949百万円の売上を記録しました。

- ・プロダクトベース・ソリューション事業では、昨年度から集中的に研究開発投資を続けてきたUMLaut/J-XMLが完成し9月から販売を開始したことにより、当該事業の売上高は66百万円と過去最高を記録しました。UMLaut/J-XMLは、当社にとって初めての外部販売目的の製品であり、流通・サービス業での業務・IT技術両面で蓄積してきた当社知的資産の集大成の1つでもあります。今後、早急にパートナー企業の協力のもと販売網を確立し流通EDI市場でのシェア獲得に経営資源を投入していく予定です。
- ・研究開発活動については、上述のUMLaut/J-XMLへの集中投資を継続し、予定通り製品を完成させ、9月から販売を開始しました。

なお、当社の基幹事業であるナレッジベース・ソリューション事業は、業界の特性と売上計上基準に完成基準を採用していることにより上半期(4-9月期)よりも下半期(10-3月期)特に1-3月期に受注及び売上が集中する傾向があり、当社の売上計画もこれを反映した計画となっております。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期第3四半期	1,027	849	82.7	71,404	95
17年3月期第3四半期	-	-	-	-	-
(参考)17年3月期	970	746	76.9	62,729	04

(注)1. 百万円未満の数字は切り捨てて表示しております。

2. 平成17年3月期は四半期財務・業績の概況の開示を行っていないため、前年同四半期実績については記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、前事業年度末より57百万円増加し1,027百万円となりました。これは、外部販売目的のソフトウェア製品(UMLaut/J-XML)への投資の増加による無形固定資産の増加(53百万円の増加)が主な要因です。

株主資本は、前事業年度末より103百万円増加し、849百万円となりました。これは、当第3四半期純利益の計上が要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	33	75	-	574
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	246	14	-	616

(注)1. 百万円未満の数字は切り捨てて表示しております。

2. 平成17年3月期は四半期財務・業績の概況の開示を行っていないため、前年同四半期実績については記載しておりません。

[キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等]

現金及び現金同等物の当第3四半期末の残高は、前事業年度末より42百万円減少し、574百万円となりました。当第3四半期の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、33百万円の純収入となりました。税引き前第3四半期純利益の計上により104百万円、減価償却費により23百万円増加したものの、一方で、賞与引当金の減少により33百万円、売上債権の増加により22百万円及びたな卸資産の増加により31百万円の減少要因が発生したことが主な要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、75百万円の純支出になりました。オフィス関連の什器備品を中心とする有形固定資産の購入による11百万円の支出に加え、外部販売目的のソフトウェ

ア製品 UMLaut/J-XML への投資額が 64 百万円の支出となったことが主な要因です。
財務活動によるキャッシュ・フローは、当第 3 四半期においては発生しておりません。

3. 平成 18 年 3 月期の業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,750	210	150

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 10,791 円 36 銭

(注) 業績予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであります。

予想には様々な不確定要素等が含まれており、実際の業績とは異なる可能性がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

なお、上記 1 株当たり予想当期純利益 (通期) は、公募株式数を含めた予定期末発行済株式数 13,900 株により算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

通期業績予想に対して、業績はおおむね順調に推移しており、売上高、経常利益、当期純利益等につきましては平成 18 年 1 月 17 日公表の平成 18 年 3 月期業績予想に対して現時点で変更はありません。

しかしながら、ナレッジベース・ソリューション事業では、受注のタイミングや検収時期及びプロフェッショナル・スタッフの採用状況等が、プロダクトベース・ソリューション事業では、UMLaut/J-XML の販売体制の整備状況や開発進捗状況並びに受注・出荷タイミング等が通期業績予想に影響を与える未確定要素として現時点で考えられ、それぞれの要素が具体化した時点で必要に応じて業績予想の修正を行う予定です。

なお、上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されています。最終の業績は上記記載の要因以外にも今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

<参考情報>

第3四半期及び前事業年度の事業別売上高、受注高及び受注残高の状況は以下のとおりです。

事業別売上高

(百万円未満切捨)

事業別	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前事業年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
ナレッジベース・ソリューション 事業	949	93.4	1,473	99.1
プロダクトベース・ソリューション 事業	66	6.6	12	0.9
合計	1,016	100.0	1,485	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

事業別受注高

(百万円未満切捨)

事業別	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前事業年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
ナレッジベース・ソリューション 事業	1,151	94.5	1,525	99.2
プロダクトベース・ソリューション 事業	66	5.5	12	0.8
合計	1,218	100.0	1,538	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注高は、作業指示書入手済の案件を記載しております。

事業別受注残高

(百万円未満切捨)

事業別	当第3四半期末 (平成17年12月31日)		前事業年度末 (平成17年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
ナレッジベース・ソリューション 事業	548	100.0	346	100.0
プロダクトベース・ソリューション 事業	-	-	-	-
合計	548	100.0	346	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高は、作業指示書入手済の案件を記載しております。

〔添付資料〕

(要約) 第3四半期財務諸表

(1)(要約) 第3四半期貸借対照表

(単位：千円)

区 分 注記 番号	当第3四半期末 平成17年12月31日現在		前事業年度の 要約貸借対照表 平成17年3月31日現在	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1. 現金及び預金	574,799		616,580	
2. 売掛金	171,483		148,844	
3. たな卸資産	52,183		20,432	
4. その他流動資産	26,051		25,817	
流動資産合計		824,518		811,674
				83.7
固定資産				
1. 有形固定資産	37,189		46,123	
2. 無形固定資産	61,959		8,245	
3. 投資その他の資産				
敷金	104,049		104,049	
投資その他資産合計	104,049		104,049	
固定資産合計		203,198		158,419
				16.3
資産合計		1,027,717		970,093
				100.0

(単位：千円)

区 分 注記 番号	当第3四半期末 平成17年12月31日現在		前事業年度の 要約貸借対照表 平成17年3月31日現在		
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	
(負債の部)		%		%	
流動負債					
1. 未払金	32,706		56,654		
2. 未払費用	70,733		46,868		
3. 未払法人税等	3,407		9,661		
4. 未払事業所税	2,445		1,061		
5. 賞与引当金	39,837		73,759		
6. 品質保証引当金	2,848		6,160		
7. その他流動負債	26,019		29,453		
流動負債合計		177,998	17.3	223,618	23.1
負債合計		177,998	17.3	223,618	23.1
(資本の部)					
資本金		300,000	29.2	300,000	30.9
資本剰余金					
1. 資本準備金	322,500		322,500		
2. その他資本剰余金					
資本金減少差益	50,193		50,193		
その他資本剰余金合計	50,193		50,193		
資本剰余金合計		372,693	36.3	372,693	38.4
利益剰余金					
第3四半期(当期)未処分利益	177,025		73,782		
利益剰余金合計		177,025	17.2	73,782	7.6
資本合計		849,718	82.7	746,475	76.9
負債及び資本合計		1,027,717	100.0	970,093	100.0

(2)(要約)第3四半期損益計算書

(単位:千円)

科目	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前事業年度の要約損益計算書 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)
売上高	1,016,383	100.0	1,485,712	100.0
売上原価	543,686	53.5	896,786	60.4
売上総利益	472,696	46.5	588,926	39.6
販売費及び一般管理費	357,614	35.2	507,479	34.2
営業利益	115,082	11.3	81,446	5.5
営業外収益	107	0.0	10	0.0
営業外費用	8,938	0.9	55	0.0
経常利益	106,251	10.5	81,402	5.5
特別利益	-	-	199	0.0
特別損失	1,290	0.1	3,769	0.3
税引前第3四半期(当期)純利益	104,960	10.3	77,832	5.2
法人税、住民税及び事業税	1,717	0.2	4,050	0.3
第3四半期(当期)純利益	103,243	10.2	73,782	4.9
前期繰越利益	73,782		-	
第3四半期(当期)未処分利益	177,025		73,782	

	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
区 分	注記 番号	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税引前第3四半期(当期)純利益		104,960	77,832
2. 減価償却費		23,562	24,060
3. 新株引受権戻入益		75	2
4. 貸倒引当金の減少額		-	214
5. 賞与引当金の増減額(減少:)		33,921	595
6. 品質保証引当金の減少額		3,312	1,975
7. 受取利息		2	5
8. 支払利息		-	55
9. 固定資産売却益		-	199
10. 固定資産除却損		1,290	3,769
11. 売上債権の増減額(増加:)		22,638	46,275
12. たな卸資産の増減額(増加:)		31,751	61,224
13. その他資産の増加額		234	2,579
14. 未払金の増減額(減少:)		17,997	28,653
15. 未払費用の増加額		23,865	16,601
16. 未払事業所税の増加額		1,384	-
17. 未払法人税等の増減額(減少:)		3,921	5,611
18. その他負債の減少額		3,359	12,189
小計		37,848	247,511
19. 利息の受取額		2	5
20. 利息の支払額		-	55
21. 法人税等の支払額		4,050	530
営業活動によるキャッシュ・フロー		33,801	246,931
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出		11,240	14,495
2. 無形固定資産の取得による支出		64,341	746
3. 有形固定資産売却による収入		-	895
投資活動によるキャッシュ・フロー		75,582	14,346
財務活動によるキャッシュ・フロー			
財務活動によるキャッシュ・フロー		-	-
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-

現金及び現金同等物の増減額(減少：)	41,780	232,585
現金及び現金同等物の期首残高	616,580	383,994
現金及び現金同等物の 第3四半期期末(当期末)残高	574,799	616,580